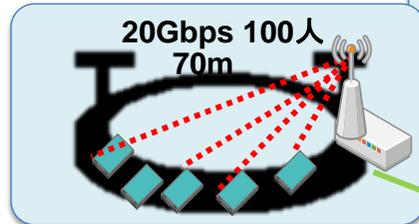


テラヘルツ帯を用いたBeyond 5G 超高速 大容量通信を実現する無線通信技術の研究開発

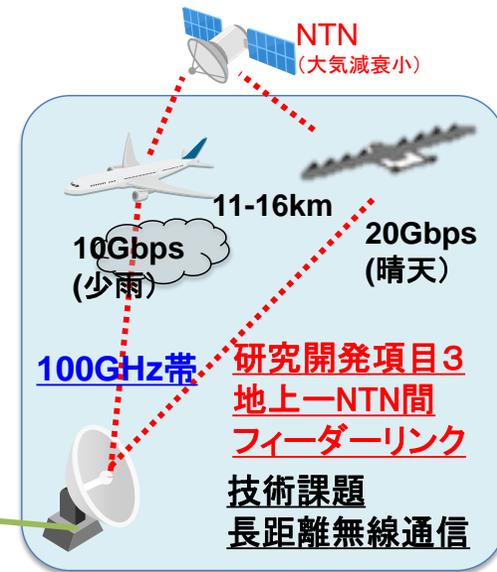
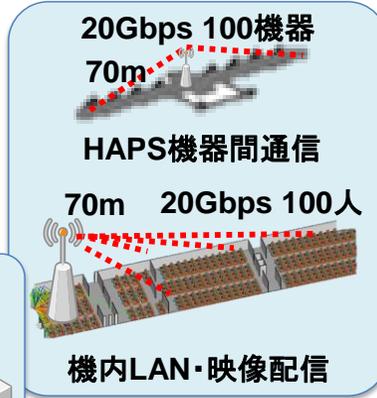
研究概要：本研究開発では、「テラヘルツ帯を用いた限定エリア内無線システムの研究開発」と「テラヘルツ帯を用いた地上～NTN プラットホーム間フィーダーリンクシステムの研究開発」を統合的に実施し、これまでのテラヘルツ帯通信システムで課題であった「周波数利用効率の向上」と「伝送距離の延伸」を実現する。成層圏や航空機内を想定した環境での実証実験を行い、100GHz帯による長距離通信、300GHz帯による高密度大容量通信を実現する。信号処理部は極力共通化することで、国際標準化と実用化の加速を図る。これによりBeyond 5Gの2つの役割「5Gの特徴的機能のさらなる高度化」と「持続可能で新たな価値の創造に資する機能の付加」に貢献する。

研究開発項目2
限定エリア内無線システム
(WLAN)

技術課題
300GHz帯
高密度大容量無線通信



データセンタ向け
機器間短距離通信



【契約期間】 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定） **【契約総額】** 約12億円

【受託者】 学校法人早稲田大学（代表研究者）、日本電信電話株式会社、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、三菱電機株式会社